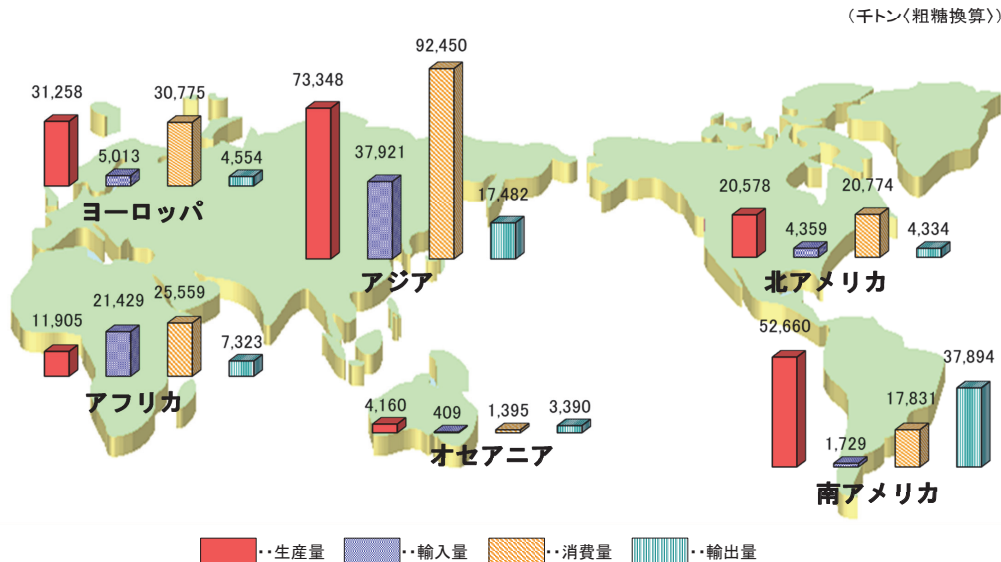




1 世界の砂糖需給（2026年3月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2025/26年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2026」を基に農畜産業振興機構作成
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

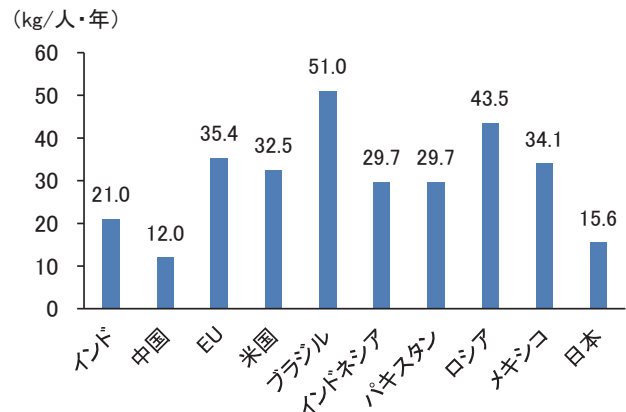
GlobalData UK Ltd.による2026年3月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2025/26砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9391万トン（粗糖換算〈以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算〉、前年度比2.4%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルは減産が見込まれている一方、同第2位のインドは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億8878万トン（同1.0%減）とわずかな減少が見込まれている。消費量第1位のインドは増加が見込まれている一方、同第2位の中国および同第3位のEUは前年度並み、同第4位の米国および同第5位のブラジルは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から0.9ポイント

増加し、44.4%と見込まれている。地域別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2026」
 注1：年度は、各国の砂糖年度。
 注2：EUには、英国を含む。
 注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

| 年度 | 期首在庫量 | 生産量 | 輸入量 | 消費量 | 輸出量 | 期末在庫量 | 期末在庫率 |
|------------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|-------|
| 1995/96 | 51,896 | 122,201 | 34,047 | 116,280 | 36,943 | 54,921 | 47.2 |
| 2000/01 | 70,606 | 131,435 | 38,460 | 130,890 | 41,453 | 68,158 | 52.1 |
| 2005/06 | 65,626 | 151,293 | 47,621 | 150,147 | 50,387 | 64,006 | 42.6 |
| 2010/11 | 60,193 | 167,213 | 54,417 | 165,420 | 58,690 | 57,713 | 34.9 |
| 2015/16 | 82,111 | 175,192 | 69,018 | 179,318 | 69,350 | 77,653 | 43.3 |
| 2020/21 | 89,172 | 182,042 | 67,427 | 186,011 | 68,244 | 84,385 | 45.4 |
| 2021/22 | 84,385 | 186,389 | 69,999 | 189,226 | 71,184 | 80,363 | 42.5 |
| 2022/23 | 80,363 | 190,704 | 71,464 | 190,968 | 71,536 | 80,027 | 41.9 |
| 2023/24 | 80,027 | 195,676 | 76,490 | 190,418 | 76,993 | 84,783 | 44.5 |
| 2024/25 | 84,783 | 189,405 | 73,271 | 190,682 | 73,900 | 82,877 | 43.5 |
| 2025/26 (2026年3月予測) | 82,877 | 193,910 | 70,861 | 188,784 | 74,977 | 83,886 | 44.4 |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2026」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

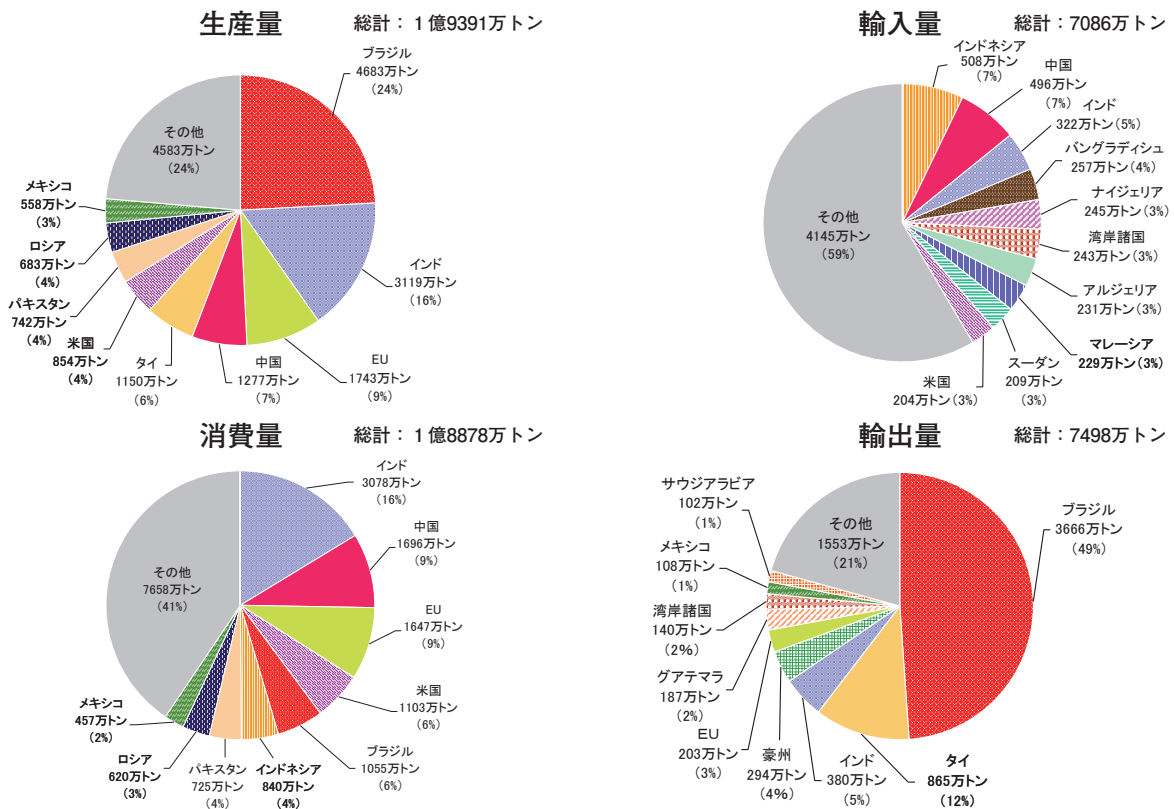
注2：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2026年3月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2026」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

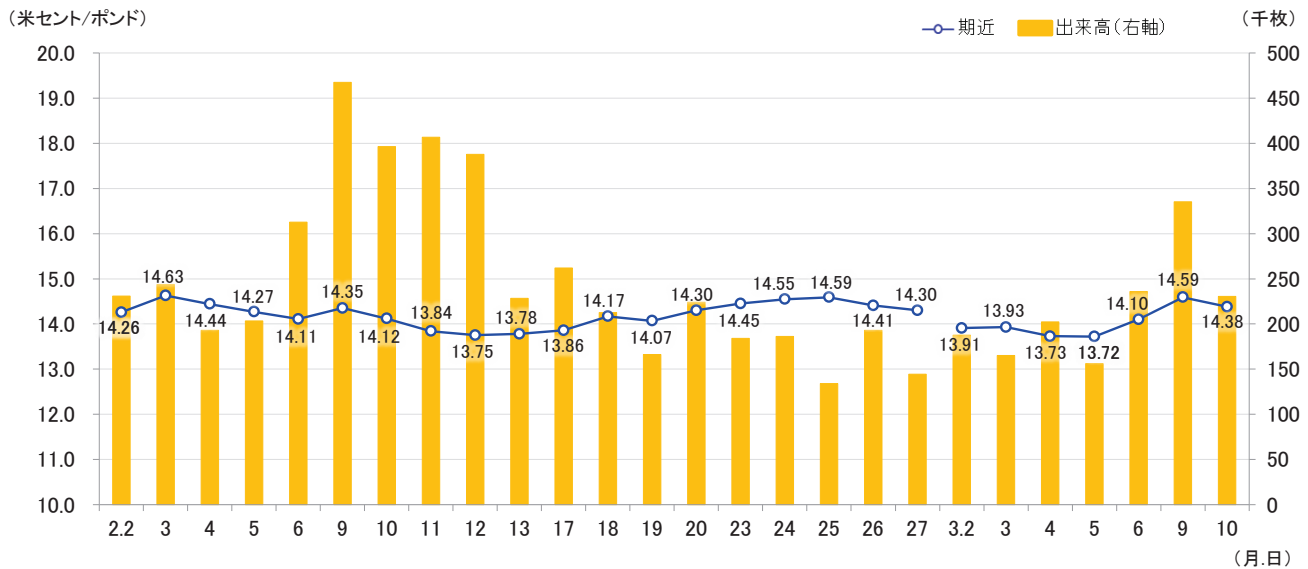
注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（2/2～3/10）

～世界的な砂糖余剰見通しにより2020年10月ぶりの13セント台を記録～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：2月は期近3月限の値、3月は5月限の値。

2026年2月のニューヨーク粗糖先物相場（3月^がぎり限）の推移を見ると、2日は世界的な砂糖余剰見通しにより1ポンド当たり14.26セント（注1）と前取引日から下落した。3日はドル安（注2）により一時的に上昇したものの、4日以降は世界的な砂糖余剰見通しにより再び下落傾向となり、6日は同14.11セントをつけた。9日はドル安により上昇したが、10日以降は世界的な砂糖余剰見通しの圧力を受けて続落し、12日は同13.75セントと20年10月ぶりとなる13セント台を記録した。13日以降はブラジル産砂糖の減産見通しやリアル高などから上昇傾向となり、25日は同14.59セントとなった。26日以降は中国における砂糖需要の減少懸念が価格を押し下げ、同14.30セントで納会した。

3月に入り期近が5月限に切り替わると、2日は原油高（注3）により5月限の値としては上昇し、同13.91セントとした。3日は原油高の影響が続き、

小幅に上昇したものの、4日以降は世界的な砂糖余剰見通しにより下落し、5日は同13.72セントをつけた。6日以降は、イスラエルがイランの石油貯蔵施設を空爆したことによる原油高から、9日は同14.59セントと急騰したが、10日は原油安により同14.38セントと下落した。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

（注3）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの場合、度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2026年3月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：908万ha（前年度比2.6%増）
生産量：6億6600万トン（同1.9%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4683万トン（同0.8%減）
輸出量：3666万トン（同1.3%増）

2025/26年度の砂糖輸出量はわずかな増加見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、908万ヘクタール（前年度比2.6%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。しかし、サトウキビ生産量は、前年度の火災や干ばつ、25年6月と7月に中南部で局所的に発生した霜害などの影響により、6億6600万トン（同1.9%減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖生産量は、世界の砂糖相場下落やエタノール30%混合（E30）義務付けによるエタノール需要の増加などを背景に1月以降、サトウキビの砂糖への仕向け割合が低下したことなどから、4683万トン（同0.8%減）とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、3666万トン（同1.3%増）とわずかな増加が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

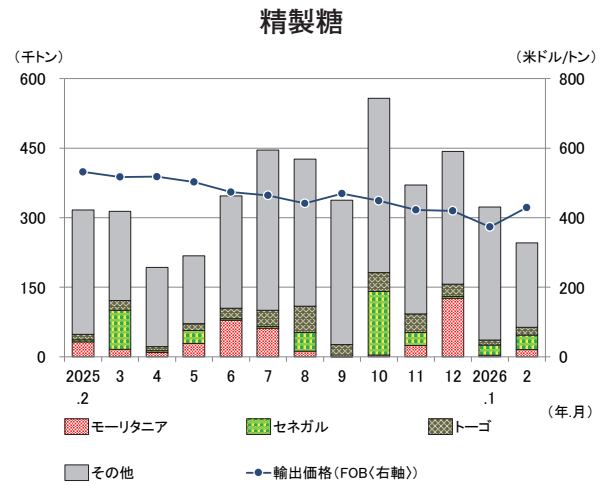
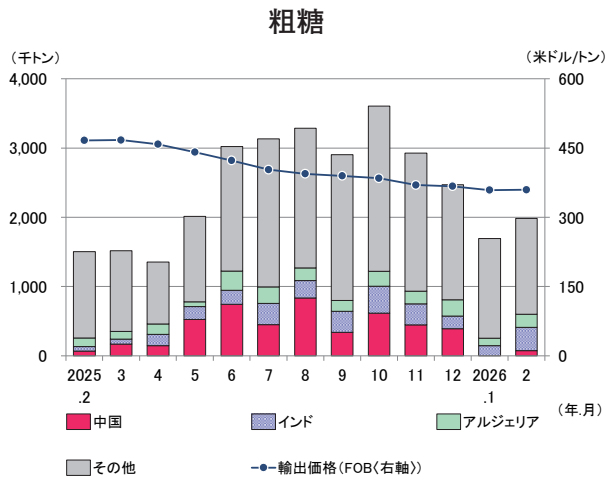
| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 （2月予測） | 2025/26 （3月予測） | 前年度比 （増減率） | |
|-----------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|----------|
| サトウキビ収穫面積 | 8,440 | 8,408 | 8,844 | 9,075 | 9,075 | 2.6 | |
| サトウキビ生産量 | 606,676 | 713,134 | 678,676 | 666,000 | 666,000 | ▲ 1.9 | |
| 砂糖 | 生産量 | 39,700 | 49,320 | 47,190 | 46,810 | 46,830 | ▲ 0.8 |
| | 輸入量 | 2 | 5 | 4 | 5 | 5 | 11.0 |
| | 消費量 | 10,924 | 10,965 | 10,751 | 10,533 | 10,551 | ▲ 1.9 |
| | 輸出量 | 28,888 | 37,393 | 36,176 | 36,280 | 36,659 | 1.3 |
| | 期末在庫量 | 2,233 | 3,200 | 3,467 | 2,944 | 3,092 | ▲ 10.8 |
| | 期末在庫率 | 5.6 | 6.6 | 7.4 | 6.3 | 6.5 | 0.8ポイント減 |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：526万ha（前年度比0.3%増）

生産量：4億1001万トン（同5.2%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：3119万トン（同10.9%増）

輸出量：380万トン（同6.6%減）

2025/26年度の砂糖生産量はかなりの程度増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、526万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、1）25年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2）マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的なものではないことと推測され、4億1001万トン（同5.2%増）とやや増加が見込まれている。

砂糖生産量は、主要生産州であるマハラシュトラ州、ウッタル・プラデーシュ州およびカルナータカ

州でのサトウキビの増産と歩留まり（糖回収率）の上昇により、3119万トン（同10.9%増）とかなりの程度増加が見込まれている。しかし、同国西部におけるサトウキビ開花時期の早期化、同国北部における従来品種の使用による収量低迷、さらには伝統的な砂糖であるグル・カンサリへの転用が予想を上回ったことなどにより、2月予測から130万トン以上下方修正された。

砂糖輸出量は、世界の砂糖相場下落により、380万トン（同6.6%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

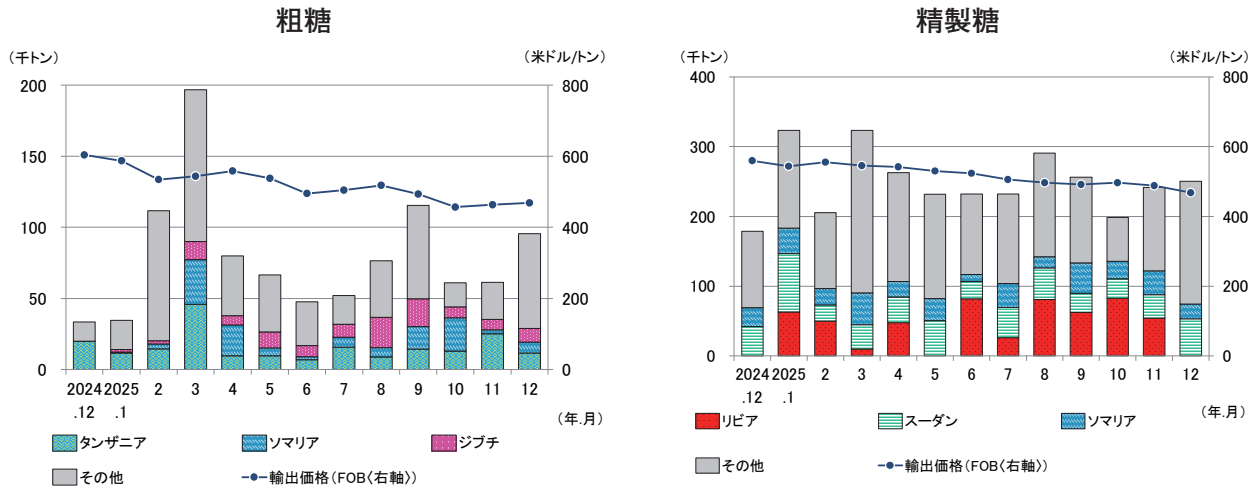
| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 (2月予測) | 2025/26 (3月予測) | 前年度比 (増減率) | |
|-----------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|----------|
| サトウキビ収穫面積 | 5,441 | 5,544 | 5,243 | 5,259 | 5,259 | 0.3 | |
| サトウキビ生産量 | 455,898 | 443,707 | 389,847 | 426,801 | 410,005 | 5.2 | |
| 砂糖 | 生産量 | 35,389 | 34,677 | 28,132 | 32,510 | 31,194 | 10.9 |
| | 輸入量 | 1,687 | 3,129 | 2,802 | 3,163 | 3,217 | 14.8 |
| | 消費量 | 30,078 | 31,093 | 30,510 | 30,780 | 30,780 | 0.9 |
| | 輸出量 | 8,646 | 4,384 | 4,068 | 3,798 | 3,798 | ▲ 6.6 |
| | 期末在庫量 | 6,286 | 8,615 | 4,971 | 6,064 | 4,804 | ▲ 3.4 |
| | 期末在庫率 | 16.2 | 24.3 | 14.4 | 17.5 | 13.9 | 0.5ポイント減 |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

中国

2025/26年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：121万ha(前年度比2.1%増)

生産量：8379万トン(同13.9%増)

【てん菜】

収穫面積：23万ha(同8.3%増)

生産量：1266万トン(同5.9%減)

【砂糖(甘しゃ糖およびてん菜糖)】

生産量：1277万トン(同5.8%増)

輸入量：496万トン(同23.4%減)

2025/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度(10月～翌9月)のサトウキビの収穫面積は、競合作物よりも収益性が高いことから生産者が作付けを増加させたことで、121万ヘク

タール(前年度比2.1%増)とわずかな増加が見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省での収穫開始が遅れたが、サトウキビの生育は良好であるため、8379万トン(同13.9%増)とかなり大きな増加が見込

まれている。

てん菜収穫面積は、競合作物の市場価格や需要の低下により、生産者が作付けを増加させたことで23万ヘクタール（同8.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一方、てん菜生産量は、単収の減少により1266万トン（同5.9%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の減産をサトウキビの増産が補完することで1277万トン（同5.8%増）とやや増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の改善見通しから、496万トン（同23.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 (2月予測) | 2025/26 (3月予測) | 前年度比 (増減率) | |
|-----------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|----------|
| サトウキビ収穫面積 | 1,102 | 1,095 | 1,180 | 1,205 | 1,205 | 2.1 | |
| サトウキビ生産量 | 62,595 | 73,132 | 73,537 | 83,793 | 83,793 | 13.9 | |
| てん菜収穫面積 | 182 | 167 | 216 | 234 | 234 | 8.3 | |
| てん菜生産量 | 8,719 | 9,377 | 13,460 | 12,662 | 12,662 | ▲ 5.9 | |
| 砂糖 | 生産量 | 9,699 | 10,773 | 12,067 | 12,602 | 12,765 | 5.8 |
| | 輸入量 | 5,851 | 7,402 | 6,470 | 5,386 | 4,955 | ▲ 23.4 |
| | 消費量 | 16,578 | 16,740 | 16,924 | 16,956 | 16,956 | 0.2 |
| | 輸出量 | 201 | 179 | 170 | 164 | 152 | ▲ 10.6 |
| | 期末在庫量 | 14,193 | 15,449 | 16,893 | 17,760 | 17,505 | 3.6 |
| | 期末在庫率 | 84.6 | 91.3 | 98.8 | 103.7 | 102.3 | 3.5ポイント増 |

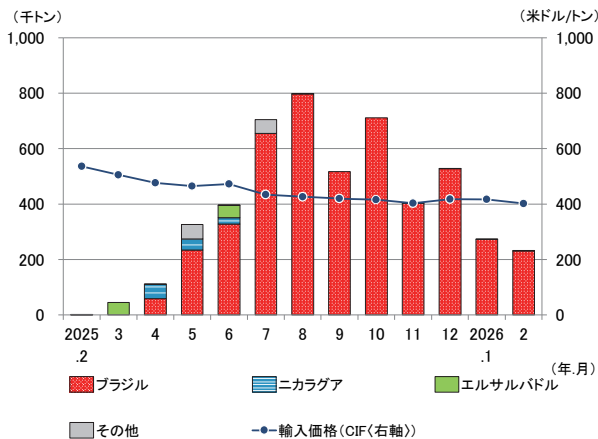
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

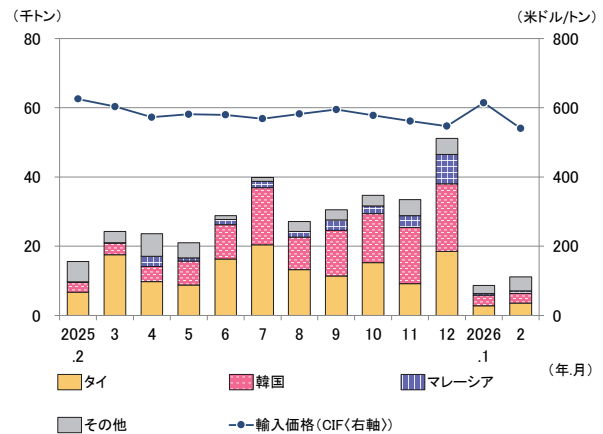
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2025年2月の粗糖輸入量は、千トン未満。

E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：140万ha（前年度比10.6%減）

生産量：1億1380万トン（同2.3%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1743万トン（同0.7%増）

輸入量：153万トン（同1.8%増）

2025/26年度の砂糖輸入量はわずかな増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で減少が見込まれることから、140万ヘクタール（前年度比10.6%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、作付面積の減少により、1億1380万トン（同2.3%

減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖生産量は、オランダのてん菜増産が作付面積の減少分を補完することから、1743万トン（同0.7%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、153万トン（同1.8%増）とわずかな増加が見込まれているが、EU市場は供給過多の状態が続いていることから、期末在庫は269万トン（同21.0%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

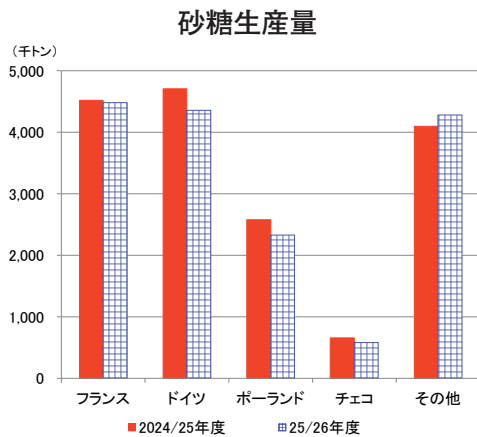
| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 （2月予測） | 2025/26 （3月予測） | 前年度比 （増減率） | |
|---------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|----------|
| てん菜収穫面積 | 1,398 | 1,447 | 1,569 | 1,403 | 1,403 | ▲ 10.6 | |
| てん菜生産量 | 99,760 | 109,898 | 116,498 | 113,159 | 113,804 | ▲ 2.3 | |
| 砂糖 | 生産量 | 15,480 | 16,313 | 17,318 | 17,337 | 17,432 | 0.7 |
| | 輸入量 | 3,287 | 2,199 | 1,503 | 1,675 | 1,530 | 1.8 |
| | 消費量 | 17,272 | 16,375 | 16,468 | 16,590 | 16,468 | 0.0 |
| | 輸出量 | 899 | 2,087 | 2,090 | 2,018 | 2,029 | ▲ 2.9 |
| | 期末在庫量 | 1,908 | 1,959 | 2,222 | 2,494 | 2,688 | 21.0 |
| | 期末在庫率 | 10.5 | 10.6 | 12.0 | 13.4 | 14.5 | 2.6ポイント増 |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

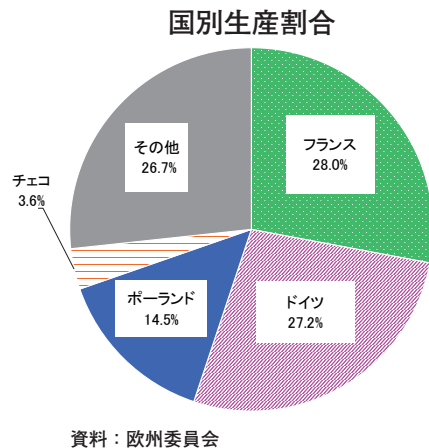
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2025/26年度）（2025年12月時点）



資料：欧州委員会
注1：精製糖換算。
注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向（2026年3月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha（前年度比4.3%増）
生産量：2887万トン（同0.2%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：391万トン（同0.2%増）
輸出量：294万トン（同1.6%増）

2025/26年度の砂糖輸出量はわずかな増加見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比4.3%増）とやや増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、23/24年度から継続して3000万トンを下回り、2887万トン（同0.2%増）と前年度並みが見込まれている。こうした中、豪州砂糖製造者協会（ASM）は、サトウキビ価格の下落で多くの製糖工場が赤字経営を強いられており、砂糖業界にとって

厳しい年となった旨の声明を発表した。26/27年度の作付けは、25/26年度の収穫作業が例年と比較して早期に終了したことで開始が早まると見込まれている。

25/26年度の砂糖生産量は、391万トン（同0.2%増）とサトウキビ生産量と同様に前年度並みが見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、294万トン（同1.6%増）とわずかな増加が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

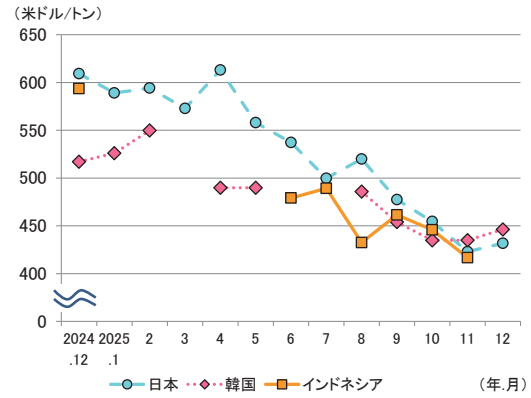
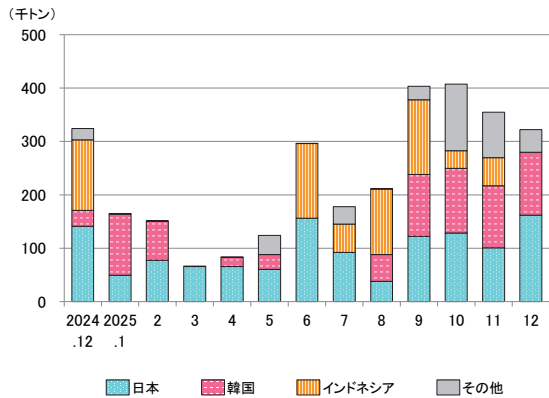
| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 (2月予測) | 2025/26 (3月予測) | 前年度比 (増減率) | |
|-----------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|--------|
| サトウキビ収穫面積 | 331 | 341 | 324 | 338 | 338 | 4.3 | |
| サトウキビ生産量 | 32,593 | 29,855 | 28,801 | 28,873 | 28,873 | 0.2 | |
| 砂糖 | 生産量 | 4,298 | 4,128 | 3,905 | 3,914 | 3,914 | 0.2 |
| | 輸入量 | 8 | 10 | 14 | 12 | 7 | ▲ 51.5 |
| | 消費量 | 996 | 975 | 976 | 1,001 | 980 | 0.4 |
| | 輸出量 | 3,292 | 3,700 | 2,896 | 2,938 | 2,941 | 1.6 |
| | 期末在庫量 | 987 | 450 | 497 | 439 | 498 | 0.0 |
| 期末在庫率 | 23.0 | 9.6 | 12.8 | 11.1 | 12.7 | 0.2ポイント減 | |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移
 輸入量 輸入価格（CIF価格）



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。
 注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。
 その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。
 ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。
 注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。
 注4：韓国の25年3月、6月、7月の輸入量は実績なし。
 注5：インドネシアの25年1月、2月、3月、4月、5月、12月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha（前年度比2.2%増）
 生産量：9800万トン（同6.5%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1150万トン（同8.7%増）
 輸出量：865万トン（同27.2%増）

2025/26年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール（前年度比2.2%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に働くことで、9800万トン（同6.5%増）とかなりの程度増加が見込まれている。しかし、25/26年度のサトウキビの最低取引価格の期首価格が大幅に引き下げられ、キャッサバ価格が安定している現状を踏まえると、サトウキビより収益性が高いキャッサバへの切り替えが進むという見方もある。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS^(注)の上

昇により、1150万トン（同8.7%増）とかなりの程度増加が見込まれている。しかし、年末年始にかけての製糖工場における圧搾作業の中止やカンボジアとの国境閉鎖に伴う労働力確保の問題などで収穫および圧搾作業に遅延が発生していることから、26年2月時点の累計生産量は前年度を下回って推移している。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に865万トン（同27.2%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

| 年度 | 2022/23 | 2023/24 | 2024/25 | 2025/26 (2月予測) | 2025/26 (3月予測) | 前年度比 (増減率) | |
|-----------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|---------------|----------|
| サトウキビ収穫面積 | 1,514 | 1,475 | 1,541 | 1,574 | 1,574 | 2.2 | |
| サトウキビ生産量 | 93,888 | 82,167 | 92,043 | 95,300 | 98,000 | 6.5 | |
| 砂糖 | 生産量 | 11,688 | 9,315 | 10,576 | 11,188 | 11,500 | 8.7 |
| | 輸入量 | 276 | 247 | 358 | 40 | 30 | ▲ 91.6 |
| | 消費量 | 3,348 | 3,294 | 3,329 | 3,238 | 3,348 | 0.6 |
| | 輸出量 | 8,002 | 5,888 | 6,798 | 8,876 | 8,646 | 27.2 |
| | 期末在庫量 | 2,584 | 2,964 | 3,771 | 3,126 | 3,306 | ▲ 12.3 |
| | 期末在庫率 | 22.8 | 32.3 | 37.2 | 25.8 | 27.6 | 9.7ポイント減 |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2026」

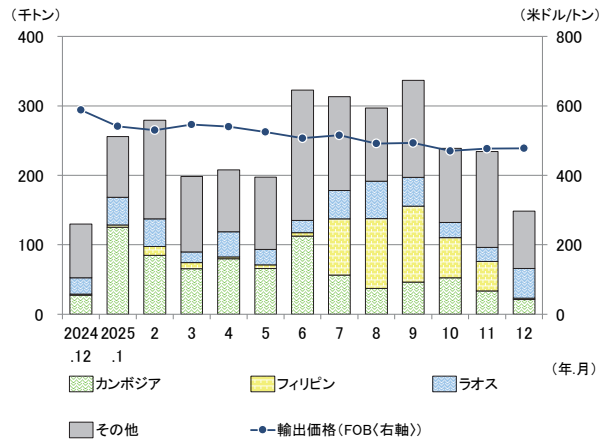
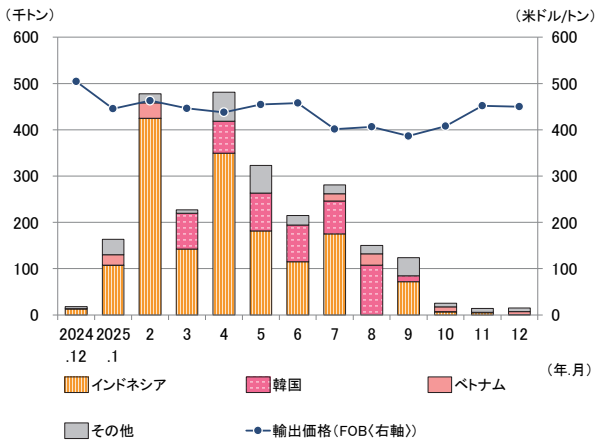
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖

精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。